



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 フィーチャ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4052 URL <https://ficha.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 脇 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO管理部長 (氏名) 立花 嵩大 TEL 03-6907-0312
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	192	△38.1	△42	—	△41	—	△40	—
2020年6月期第3四半期	311	—	78	—	74	—	52	—

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 △39百万円 (—%) 2020年6月期第3四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	△7.39	—
2020年6月期第3四半期	9.98	—

(注) 1. 当社は、2019年6月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 2021年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。
3. 2020年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載していません。
4. 当社は、2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	539	527	97.9
2020年6月期	578	524	90.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 527百万円 2020年6月期 524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	274	△34.6	△57	—	△55	—	△54	—	△9.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	5,498,625株	2020年6月期	5,409,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	一株	2020年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	5,496,977株	2020年6月期3Q	5,259,000株

(注) 当社は、2019年11月30日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「Make Things Intelligent」をミッションに掲げ、画像認識ソフトウェアの開発を行っております。

当社グループが属する画像認識ソフトウェア業界においては、自動車向け先進運転支援システム（ADAS）の普及や自動運転技術の実用化に向けて、自動車関連企業各社が取り組みを強化しています。

こうした環境の中で、当社グループは、新規案件の獲得及びディーラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を積極的に進めてまいりました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては、ドライブレコーダーの量産案件が堅調に推移した一方で、新型コロナウイルス感染症拡大により、当社の主要顧客である自動車メーカー及び自動車関連企業の設備投資動向や生産計画に想定以上の影響が出ており、先行開発案件の受注が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高192,975千円（前年同四半期比38.1%減）、営業損失42,987千円（前年同四半期は営業利益78,214千円）、経常損失41,254千円（前年同四半期は経常利益74,889千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失40,631千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益52,484千円）となりました。

なお、当社グループは「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は501,407千円（前連結会計年度末比26,299千円減）となりました。これは主に、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資や法人税等の支払い等により現金及び預金が8,948千円増加したものの、受注の減少により売掛金が48,084千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は38,175千円（同12,182千円減）となりました。これは主に、減価償却費により有形固定資産が5,634千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は539,583千円（同38,482千円減）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,596千円（同42,242千円減）となりました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が20,010千円減少したこと及び消費税等の納付により未払消費税等が15,587千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は11,596千円（同42,242千円減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は527,986千円（同3,759千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が40,631千円減少したものの、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ20,810千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想及び業績予想の前提となる条件につきましては、2021年2月12日に公表いたしました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,513	428,461
売掛金	100,741	52,657
仕掛品	1,076	5,910
前払費用	6,375	6,309
その他	—	8,068
流動資産合計	527,707	501,407
固定資産		
有形固定資産	23,786	18,151
投資その他の資産	26,572	20,024
固定資産合計	50,358	38,175
資産合計	578,065	539,583
負債の部		
流動負債		
未払金	10,197	4,398
未払法人税等	20,010	—
未払消費税等	15,587	—
前受収益	2,227	1,666
賞与引当金	—	197
その他	5,814	5,332
流動負債合計	53,838	11,596
負債合計	53,838	11,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,880	270,440
資本剰余金	232,570	254,130
利益剰余金	43,992	3,360
株主資本合計	525,442	527,930
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,214	56
その他の包括利益累計額合計	△1,214	56
純資産合計	524,227	527,986
負債純資産合計	578,065	539,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	311,642	192,975
売上原価	86,788	55,877
売上総利益	224,854	137,098
販売費及び一般管理費	146,640	180,086
営業利益又は営業損失(△)	78,214	△42,987
営業外収益		
受取利息	12	12
助成金収入	—	1,052
為替差益	—	419
その他	34	249
営業外収益合計	46	1,733
営業外費用		
支払利息	3	—
株式公開費用	2,000	—
為替差損	1,367	—
営業外費用合計	3,371	—
経常利益又は経常損失(△)	74,889	△41,254
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	74,889	△41,254
法人税、住民税及び事業税	13,677	△622
過年度法人税等	8,727	—
法人税等合計	22,405	△622
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52,484	△40,631
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	52,484	△40,631

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52,484	△40,631
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△393	1,270
その他の包括利益合計	△393	1,270
四半期包括利益	52,091	△39,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,091	△39,360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴い、当社普通株式87,000株のオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資を行ったことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ20,810千円増加しました。また、新株予約権(ストックオプション)の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ749千円増加したことにより、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が270,440千円、資本剰余金が254,130千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、見積実効税率に替えて法定実効税率を用いることとしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。